

9月イベント情報

わらべうたのおはなし会 図書館スタッフ

絵本の読み聞かせやわらべ歌で手遊びをします。
日時 9月1日(日) 午後3時～
場所 3階図書館おはなし広場
対象者 幼児・小学校低学年

だっこのおはなし会 図書館スタッフ

0歳からの乳幼児向けおはなし会を行います。
日時 ①9月5日(木) ②9月19日(木) ③9月26日(木)
いずれも午前10時30分～
場所 ①②3階図書館おはなし広場
③古北にじいろ会館 2階図書館・学習室
対象者 乳幼児

認知症サポーター養成講座

認知症の症状や予防についてのよくある質問と一緒に学んで
認知症サポーターになりませんか。
日時 9月7日(土) 午前10時～正午
場所 図書館3階イベントホール
定員 30人(申込先着順)
申込 8月17日(土)午前8時30分から電話または申込フォームにて受付。
問合せ 江南南部地域包括支援センター(☎55-5470)へ。
共催 江南市立図書館

みんなでブックトーク「旅の本」

紀行文、道中記、宇宙への旅、ジャンルを問わず旅立ちたくなる
一冊を紹介します。
日時 9月8日(日) 午後2時～
場所 4階図書館グループ学習室
運営 江南ブッククラブ
対象者 18歳以上
定員 10人(当日先着順)

読み聞かせ会

絵本や紙芝居などの読み聞かせを行います。
日時 9月14日(土) 午後3時～
場所 3階図書館おはなし広場
朗読者 朗読ボランティア あめんぼ
対象者 幼児・小学校低学年

工作教室「くるくる万華鏡をつくろう」 図書館スタッフ

トイレットペーパーの芯を使って万華鏡を作ります。
日時 9月15日(日) 午後3時～
場所 4階図書館グループ学習室
対象者 小学生
定員 5組(当日先着順)

絵本を楽しむ会

絵本作家「林明子」を特集します。
日時 9月21日(土) 午前10時～
場所 4階図書館グループ学習室
運営 江南あおむしの会
対象者 18歳以上
定員 10人(当日先着順)

耳で楽しむ読書体験！ストーリーテリング

絵本や紙芝居などを使わないおはなし会を行います。
日時 9月21日(土) 午後3時～
場所 3階図書館イベントホール
語り手 ストーリーテリングの会 江南おはなしのろうそく
対象者 5歳以上(大人も参加可)

発行
江南市立図書館

〒483-8157 江南市北山町西 300 番地 toko*toko*labo3・4 階
TEL:(0587)56-2306 URL:https://lib-konan.aichi.jp/



認知症サポーターステップアップ養成講座

サポーター活動を知るためのステップアップ講座を行います。
日時 9月21日(土) 午前10時～11時30分(9時45分から受付)
場所 toko*toko*labo1階 地域交流センター会議室1
対象者 市内在住または在勤の認知症サポーター養成講座修了者
申込 9月2日(月)午前8時30分から電話または申込フォームにて受付。
申込先 江南南部地域包括支援センター(☎55-5470)へ。
共催 江南市立図書館



おはなし会with工作教室 図書館スタッフ

おはなし会と工作教室を行います。
日時 9月22日(日・祝) 午後3時～
場所 古北にじいろ会館 2階集会室
対象者 幼児・小学校低学年

ライブラリーシネマ「家康、江戸を建てる」

寒村から「大都市・江戸」を計画した徳川家康と、家康の夢に
人生をかけた熱い男たちのお話です。
日時 9月23日(月・休) 午後4時～
場所 3階図書館イベントホール
定員 40人(当日先着順)

英語でのおはなし会

英語の絵本の読み聞かせを行います。
日時 9月28日(土) 午後3時30分～
場所 3階図書館おはなし広場
朗読者 江南市国際交流協会「ふくらの家」
対象者 幼児・小学生

講演会「読み聞かせは心の太陽」

子どもへの読み聞かせの大切さを学ぶ講演会を行います。
絵本の読み聞かせの実演もあります。
日時 9月29日(日) 午後1時30分～
場所 3階図書館イベントホール
講師 浅井彰子(フリーアナウンサー)
定員 50人(当日先着順)
共催 江南あおむしの会

清須市はるひ美術館長アートトーク「浮世絵の奇跡！」

2025年大河ドラマのテーマ「浮世絵」について、
その魅力やアートとしての意味などをお話しいたします。
日時 10月5日(土) 午前10時～
場所 3階図書館イベントホール
講師 高北幸矢(清須市はるひ美術館館長)
定員 50人(抽選。当選者のみはがきを発送します。)
申込 9月13日(金)～9月27日(金)に電話または直接図書館へ。

笑顔の子育て心理学セミナー

心理カウンセラーが子育ての悩みや不安に役立つ心理学講座を行います。
子どもの発達を支える効果的な方法が学べます。
日時 10月6日(日) 午後2時～
場所 3階図書館イベントホール
講師 鷲津秀樹(NPO法人日本次世代育成支援協会)
定員 50人(当日先着順)
その他 無料託児サービス(抽選)があります。詳しくは、
9月1日(日)～9月8日(日)までに電話または直接図書館へ。
共催 ほその外科小児科



特集

浮世絵を楽しむ

浮世絵とは？/創始者・菱川師宣/錦絵について/判じ絵クイズ
アートトーク「浮世絵の奇跡！」開催予告
おすすめ本紹介

来館者が57万人を達成

図書館館長コラム

「江南市限定グッズを探る！」

9月の図書館イベント情報

広重『諸国名所百景 尾州名古屋真景』(一部加工して使用)歌川広重/筆 国立国会図書館デジタルコレクション
https://dl.ndl.go.jp/pid/1309832

図書館からのお知らせ

- 館内整理のため、毎月第2・第4木曜日がお休みになります。
9月は12日(木)・26日(木)です。
※学習室はご利用いただけます。休館日のご利用時間は 9:30～17:30です。
- 本は大切に扱ってくださいますようお願いいたします。
破れた時はカウンターにお申し出ください。図書館で修理いたします。
※多くの方にご利用頂くために書き込み・切り取りはしないようお願いいたします。
- DVD 等視聴覚資料の取扱いは慎重をお願いいたします。
弁償となった場合は著作権分が市販価格に上乗せとなり、高額となる場合がございます。

ほっ



てい

布袋発の図書館情報誌

2024年

9月

江南市立図書館

浮世絵を楽しむ

浮世絵とは？

その時代、その時々の人々の生活や風俗を描いた「風俗画」江戸時代の1670年頃から江戸で広まり、明治時代に衰退するまで階層を超えた多くの人に好まれ、大量の作品が制作されました。当時は1枚あたり蕎麦一杯程度の値段で庶民も買うことが出来る娯楽色の強い絵画でした。

『彩色美津朝』(一部加工して利用)
鳥居清長/筆
国立国会図書館デジタルコレクション
(<https://dl.ndl.go.jp/pid/1288347>)



浮世絵の創始者・菱川師宣

もともと絵師として本の挿絵を描いていた菱川師宣が挿絵を独立させた「一枚絵」という鑑賞用の浮世絵版画を描いたのが始まりといわれています。

なかでも「見返り美人図」は師宣の、そして肉筆浮世絵をも代表する傑作です。

『見返り美人図』菱川師宣/筆
千葉県立図書館 千葉県デジタルアーカイブより



『錦絵』の登場

浮世絵版画が生み出され墨一色から手彩色、2~3色の紅摺絵とカラー化が進んでいく中、江戸の人々に衝撃を与えたのが錦絵(7~8色)の登場です。

絵師たちが思うままに色数を増やせるその技術は評判を呼び、瞬く間に広まっていきました。

そしてその活況の中で多くの浮世絵師が育ち、後世に残る傑作錦絵が次々と誕生していったのです。



錦絵を生み出した鈴木春信の作品

←『坐鋪八景・時計の晩鐘』
鈴木春信/筆

錦絵が広まり、北斎や広重らが描く「風景画」は当時の人々の旅へと憧れる心を掴み重要なジャンルになりました。

→『諸国瀧廻り・木曾路/奥阿彌陀ヶ瀧』
葛飾北斎/筆
上記2作品出典: ColBase より
(<https://colbase.nich.go.jp/>)



浮世絵は下記の3つに大別されます。

- ①木版による版本の挿絵(手摺りで量産)
- ②木版による一枚絵(手摺りで量産)
- ③肉筆浮世絵(絵師の直筆絵画)

特に②は江戸後期になると当時の世界最高峰ともいえるカラー技術を確立し数えきれないほどの作品を世に送り出しました。師宣は①~③すべてを描いています。

さまざまな浮世絵の魅力が分かる！
おすすめ本をご紹介します。

まずはこの一冊から！



『面白ほどよくわかる浮世絵入門』
深光富士男/著
河出書房新社(721.8)

鑑賞がもっと楽しくなる！



『ニッポンの浮世絵』
日野原健司/著
渡邊晃/著
太田記念美術館/監修
小学館(721.8)

浮世絵からわかる江戸の暮らし

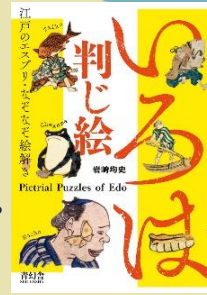


『浮世絵の解剖図鑑』
牧野健太郎/著
エクスナレッジ(721.8)

もっと判じ絵を見たい方へ！

浮世絵師たちが趣向を凝らした珍問・難問500問！江戸ごころを楽しんでみませんか？

『いろは判じ絵』
岩崎均史/著
青幻舎(B72)



鵜と絵の具屋の看板の上だけ
→「鵜・絵の」
→上野
傘とその文字は「あ・傘・か」
→赤坂

四本の矢「四・矢」
→四谷

目の色が黒い「め・くろ」
→目黒

判じ絵答え

蜘蛛の巣と阿弥陀がたらいで(川を)渡っている
「巣・阿弥陀・川」
→隅田川

「あ」がしたおならがくさい！
「あ・さ・くさ」
→浅草

4枚の葉に濁点がついている
「四・ば(葉に濁点)」
→芝

本が鵜と碁を指す
「本・碁・鵜」
→本郷

ひらがなの「すぎ」
「かな・すぎ」
→金杉

矢を煎っている
「煎り・矢」
→入谷

鶴の上半身と雉が合体
「つ(る)・きじ」
→築地

鷹がくわえているのは縄
「鷹・縄」
→高輪

火にげんこつをくわわしている
「火・くら(わす)」
→日暮里

本を読む錠
「本・錠」
→本所

大きい琴柱(ことじ)
(琴の弦を支えるもの)
「大(きい)・(こと)じ」
→王子

『江戸名所はんじもの』歌川重宣/筆 国立国会図書館
「錦絵でたのしむ江戸の名所」より (<https://www.ndl.go.jp/landmarks/>)

こうなん 来館者が57万人を達成

2024年7月28日(日)、江南市立図書館の累計来館者数が57万人に達しました。記念すべき57万人目の方は親子で来館頂き館長から声をかけられると驚きながらも喜んで頂きました。「本当はもっと早く来館する予定だったのですが、娘の昼寝を待って来たのでこの時間になりました。逆にラッキーでした。」とコメントを頂きました。セレモニーでは館長から記念品の贈呈が行われました。



娘さんはちょっと緊張の面持ちでしたが、お父さんも合流してからはご家族で記念写真を撮っていました。

これを記念して図書館では8月4日からオリジナルクリアファイル570部を来館者へ配布しました。※現在は配布を終了しています。



57万人2番目、3番目の学生さん。お二人にも記念品が贈られました。

素敵な浮世絵の世界を
もっと楽しんでみるイベントは
いかがでしょうか？
来年の大河ももっと面白くなるかも…？

清須市はるひ美術館長アートトーク「浮世絵の奇跡！」

10月5日(土)開催！
詳細は裏面イベント情報にて

参考文献:
『面白ほどよくわかる浮世絵入門』
深光富士男/著
河出書房新社(721.8)
『いろは判じ絵』
岩崎均史/著
青幻舎(B72)
『浮世絵の解剖図鑑』
牧野健太郎/著
エクスナレッジ(721.8)

判じ絵クイズ

これは判じ絵という「絵で見るなぞなぞ」です。これは1つ1つが江戸の地名を表しています。ぜひ挑戦してみてください。答えは誌面右側にあります。

たとえばこちら(下図)2本の梯子の上半分に濁点がついています。
→「二本・はし(ご)に濁点」
→答え:日本橋
となります！



←『江戸名所はんじもの』歌川重宣/筆
国立国会図書館「錦絵でたのしむ江戸の名所」より
(<https://www.ndl.go.jp/landmarks/>)



図書館館長コラム「江南市限定グッズを探る！」～市制70周年・図書館来館者57万人記念～

皆さんこんにちは、館長の中谷です。おかげさまで図書館は来館者57(こうなん)万人を達成しました。市制70周年の記念の年に、ダブルでおめでたい！！と図書館は盛り上がっています。セレモニーでは、記念品として図書館オリジナルクリアファイルのほか、市の限定グッズなども贈呈しました。

その中から、おすすめのピンバッジをご紹介します。バッジという子ども向けのイメージですが、大人でも楽しめるデザインになっています。皆さんも記念におひとついかがですか？(市役所企画課・商工観光課で販売中)

